

富岡鐵齋 とみおか ていさい 日本畫家。大正七年十一月十九日京都生れ、大正十

二年十一月二十二日歿（八六一九四）。諱石録、字鐵民・無倦、通稱

鐵四郎、鐵四郎、鐵錫、道節。富岡節、富岡鍊。別號かねのや、寒翁、

居易書堂、居易書院、紫山子、無倦、無量壽佛堂、畫禪盒、蘿摩園、

裕軒、鍊史、鍊視齋主、鍊道人、鍊錫齋主人、鍊齋主、鍊齋主人、鍊

齋徳史、鍊齋居士、鍊齋漫士、鐵人、鐵史隱居、鐵史、鐵崖、鐵民、

鐵犯、鐵研齋、鐵老小徳、鐵術人、鐵農、鐵洋人、鐵道人、鐵錫齋、

鐵齋主人、鐵齋外史、鐵齋居士、鐵齋山人、鐵齋老人、魁星閣、富岡

鍊史、富岡鍊齋等。小田海濱、浮田一葉等小學。維新後神官と經て、

明治二十七年京都市の美術工藝學校教授、三十年田能村直入等と日本

南畫協會設立、大正八年帝室技藝員、八年帝國美術院會員。

著書『稱呼私辨(辨)』(富岡鐵齋名、慶應元年八月平安・博文堂)、

『何言著可菓子』(何題「菓子約説」鍊齋居士名、校、慶應二年、居易書

院藏、平安・文光堂)、中井竹山著『草茅危言』全五册(富岡鐵齋名、

校、明治元年十月官許、田中屋、專助・京都近江屋、兵衛、燕石

陳人註・倉橋費校・片山勤重校『山陽詩註』(鍊齋漫士名、増校、明

治二年耕讀莊藏、東京・竹荷樓坊々木惣四郎發兌)等。

文獻、北京義雄編『富岡鐵齋』(昭

和十二年九月二十日ヤトリ社)、

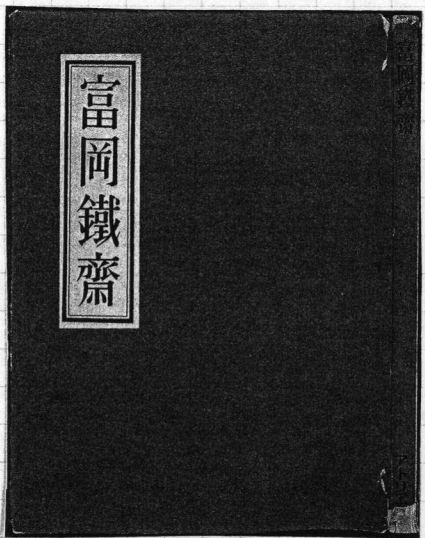
『正京傳』二郎著『富岡鐵齋』(昭和十



七年十一月十五

日錦城出版社)、

本田成之著『富



富岡鐵齋

- 『鋼鐵學の簡書』(昭和十九年五月二十日湯川弘文社)、小高根大郎著
- 『富岡鐵廠の研究』(昭和十九年一月五日藝文書院)、同 富岡鐵廠
- (昭和二十一年二月二十五日泰成・養徳社)、富岡益太郎編 『鋼鐵の
歴史』(昭和四十八年四月二十日富岡鐵道研究所)等。